

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-240829

(43)Date of publication of application : 11.09.1998

(51)Int.Cl. G06F 17/60
G06F 13/00
G06F 17/00
G06F 17/30

(21)Application number : 09-060150 (71)Applicant : NET BIRETSUJI KK

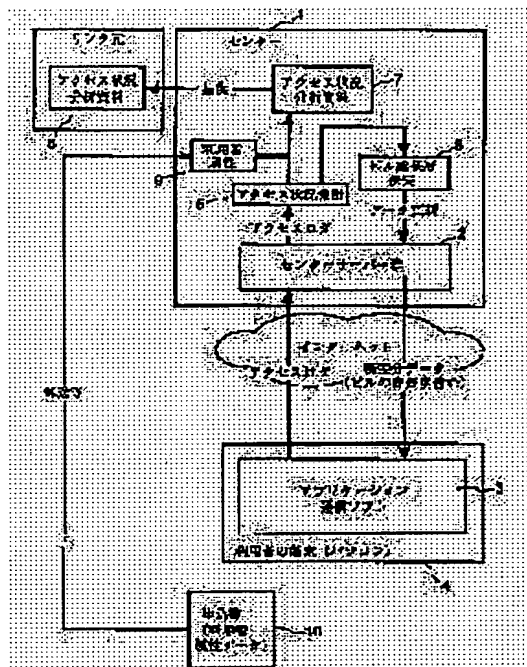
(22)Date of filing : 28.02.1997 (72)Inventor : IIDA SHOICHI

(54) INFORMATION DISPLAY SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable an information center server side to provide service information complying with dynamic needs for user sides at any time by grasping dynamic log data on the user sides and to enable a user to visually know state variation in daily access frequency.

SOLUTION: When there is an application for the registration of computer graphics(CG) from a link source 8, the CG is registered on the side of the center. Then dynamic log data corresponding to information on access through application communication software 3 from user' personal computer terminals are recorded and managed on the side of a center server group 2. According to the frequency of real-time access utilization by a user of the dynamic log data, information complying with the dynamic needs is provided for each user from the center server group 2. Therefore, variation in daily access frequency can visually be known and a clue to popular WEB page and event information can be obtained because high CG has something.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.03.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 14.05.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(11)特許出願公開番号

特開平10-240829

(43)公開日 平成10年(1998)9月11日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	F I	
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	Z
13/00	3 5 5	13/00	3 5 5
17/00		15/20	Z
17/30		15/403	3 4 0 B

審査請求 有 請求項の数 4 FD (全 5 頁)

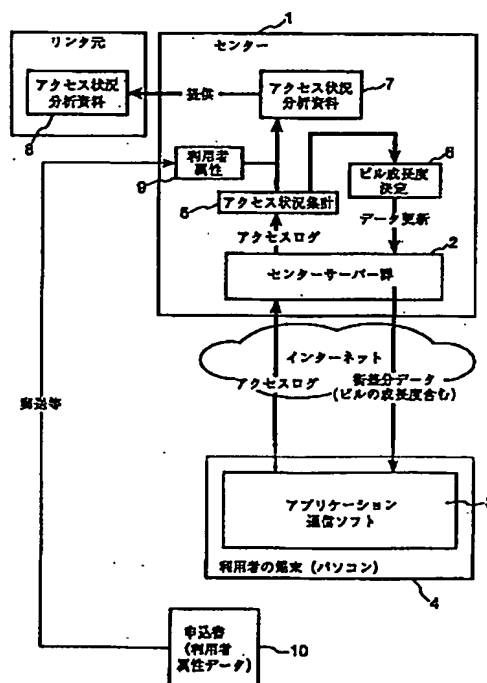
(21)出願番号	特願平9-60150	(71)出願人	597035436 ネットビレッジ株式会社 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
(22)出願日	平成9年(1997)2月28日	(72)発明者	飯田 祥一 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 ネット ビレッジ株式会社内
		(74)代理人	弁理士 神崎 正浩

(54) 【発明の名称】 情報表示システム

(57) 【要約】

【課題】 利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で把握させることにより、動的ニーズに対応したサービス情報を随時利用者側に提供させ且つ利用者側はビジュアルに日々のアクセス数の変化を知ることができるようにする。

【解決手段】 アプリケーション通信ソフト3に、利用者がいつどのWEBページをクリックしたかをアクセスログデータとして情報センター1側に捕捉させる通信制御機能と、各WEBページをビル等のCG形式で生成表示させることで自分のホームページを開設（リンク）させる表示制御機能と、利用者が所望のCGを訪問（クリック）するとWWWブラウザが起動しWEBページが表示されて予め各CGに指定されたURLに飛ぶ起動処理機能とを夫々プログラム内蔵した構成とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者側のパソコン端末から各WEBページにリンクする機能を含むアプリケーション通信ソフトにより情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバから利用者側へコントロール情報を送る情報配信サービス用システムであって、該アプリケーション通信ソフトには、利用者がいつどのWEBページをクリックしたかをアクセスログデータとして情報センターサーバ側に捕捉させる通信制御手段と、WEBページをビル形態のCG表示で生成させることで自社ホームページをリンクさせる表示制御手段と、利用者が所望のCGをクリックするとWWWブラウザが起動しWEBページが表示されて予め各CGに指定されたURLに飛ぶ起動処理手段とが設定され、前記通信制御手段により対象となるCGがクリックされたアクセスログデータを情報センターサーバ側で一日毎に集計し、前記起動処理手段の起動を介してクリック数のリアルタイムでの変動に応じて前記表示制御機能により生成表示されるCGを拡大・縮小自在に再生表示させることを特徴とする情報表示システム。

【請求項2】 前記情報センターサーバは、特定のCGと全体とのアクセス状況の相対的な比較度合いに基づいてCG成長率を決定させた後、対象CGのサイズの変更を行なわせるCG成長度決定手段を有する請求項1記載の情報表示システム。

【請求項3】 前記情報センターサーバは、所定期間分に集計されたアクセスデータ分析結果をそのWEBページをもつ企業や個人等のリンク元へフィードバックさせるフィードバック手段を有する請求項1記載の情報表示システム。

【請求項4】 前記CG表示形態はビル成長型形態によるものである請求項1乃至3いずれかに記載の情報表示システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、例えばゲームソフト等に応用されるものであり、利用者がコンピュータグラフィックス(CG)等による画面表示内で仮想都市国家を構築し、その中で複数の参加利用者およびサービスの間での通信を実現するための主としてインターネットの仕組みとCD-ROM機能によるアプリケーション通信ソフトを使用し、リンク兼ログ情報等を視覚表示させるための情報表示システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、ゲームソフト用のコンピュータグラフィックス等による画面表示の中に構築された仮想都市空間の中へネットワークを通じて自分の分身を送り込み、この中で自由に生活する所謂ハイパーコミュニケーションネットワークのためのCD-ROM機構がある。また近年、インターネット経由で各利用者のパソコンに

立体仮想空間映像を送り込む所謂VRMLが現実のものとなりつつある。これらのCGは単なる静止画像であるものがほとんどであった。また、リンクといわれるある特定の場所をクリックすると特定されたWEBページへ飛ぶという機能もテキストのものがほとんどであった。また各WEBページのアクセス状況は各WEBページに配されたカウンターや、特定のWEBページ等で行なわれる人気投票等により知り得るものが通例であった。

【0003】

10 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の情報表示システムでは、利用者がどのようなホームページを利用し、あるいはどのサービス情報を頻繁に活用しているかの動向が容易に把握することができず、その結果、動的ニーズに対応した情報を利用者側に提供することができないという問題点を有していた。

【0004】そこで本発明は、叙上のような従来存した問題点に鑑み創出されたもので、利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で把握させることにより、これらのCGの変化、リンク、アクセス状況把握の機能

20 機能を一度に解決してしまおうという試みであり、動的ニーズに対応したサービス情報を随時利用者側に提供することができ、且つ利用者はビジュアルに日々のアクセス数の状況変化を視覚的に知ることができ、人気WEBページやイベント情報の足掛かりとすることができる情報表示システムを提供することを目的としたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した目的を達成するため、本発明にあっては、利用者側のパソコン端末から各WEBページにリンクする機能を含むアプリケーション通信ソフトにより情報センターサーバにアクセスし、該情報センターサーバから利用者側へコントロール情報を送る情報配信サービス用システムであって、該アプリケーション通信ソフトには、利用者がいつどのWEBページをクリックしたかをアクセスログデータとして情報センターサーバ側に捕捉させる通信制御手段と、WEBページをビル形態のCG表示で生成させることで自社ホームページをリンクさせる表示制御手段と、利用者が所望のCGをクリックするとWWWブラウザが起動しWEBページが表示されて予め各CGに指定されたURLに飛ぶ起動処理手段とが設定され、前記通信制御手段により対象となるCGがクリックされたアクセスログデータを情報センターサーバ側で一日毎に集計し、前記起動処理手段の起動を介してクリック数のリアルタイムでの変動に応じて前記表示制御機能により生成表示されるCGを拡大・縮小自在に再生表示させることを特徴とする。また前記情報センターサーバは、特定のCGと全体とのアクセス状況の相対的な比較度合いに基づいてCG成長率を決定させた後、対象CGのサイズの変更を行なわせるCG成長度決定手段を有するものとしたり、あるいは

30

40

50

3

所定期間分に集計されたアクセスデータ分析結果をそのWEBページをもつ企業や個人等のリンク元へフィードバックさせるフィードバック手段を有するものとしたりできる。さらに前記CG表示形態は、ビル成長型形態によるものとすることもできる。

【0006】本発明に係る情報表示システムにあつて、通称ネットビレッジの基本は、あるWEBページへのリンクであり、予め各CGに指定されたURLがあり、そのCGをクリックするとそのURLに飛ぶ、すなわちWWWブラウザが立ち上がりWEBページが表示されるシステムである。このCGがクリックされたログデータ情報を情報センターサーバ側で一日毎に集計させ、クリック数の変動、すなわち前日との相対比較度合いに応じてCGが大きくなったり小さくなったりする。これにより利用者はビジュアルに日々のアクセス数の変化を知ることができ、高いCGには何かがあるという好奇心や興味をもたせ、人気WEBページやイベント情報の足掛かりになる。このように動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて表示制御機能により動的ニーズに対応した情報がCG建築形式で随時再生表示させることで従来情報センターサーバ側で行なっていたサービス処理表示生成を利用者パソコン端末の起動のみで行なえる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明すれば、情報表示システムを構成する通称ネットビレッジは利用者のアイデアを受けて共同して構築される仮想都市国家であり、通信サービスの利用者同士のリアルタイムな情報交換を伴うサービスシステムでもある。本システムを構成するアプリケーション通信ソフトには、利用者がいつどのWEBページをクリックしたかをアクセスログデータとして情報センターサーバ側に捕捉させる通信制御機能と、WEBページを例えばビル形態等のCG形式で生成表示させることで自社ホームページを開設（リンク）させる表示制御機能と、利用者が所望のCGを訪問（クリック）するとWWWブラウザが起動しWEBページが表示されて予め各CGに指定されたURLに飛ぶ起動処理機能とが夫々プログラム内蔵されている。このとき前記通信制御機能によりCGがクリックされたアクセスログデータを情報センターサーバ側で一日毎に集計し、前記起動処理機能の起動を介してクリック数のリアルタイムでの変動に応じて前記表示制御機能により生成表示される対象CGを拡大・縮小自在に再生表示可能にした構成とされている。

【0008】また前記情報センターサーバには、特定CGと全体とのアクセス状況の相対的な比較度合いに基づいてCG成長率を決定させた後、対象CGのサイズの変更を行なわせるCG成長度決定機能と、所定期間分に集計されたアクセスデータ分析結果を対象企業側へフィードバックさせるフィードバック機能を備えている。

4

【0009】具体的なシステム全体像としては、図1に示すように、利用者側には端末操作を介して情報センター1側のセンターサーバ群2にアクセスさせ、且つ街差分データ（CGの成長度含む）を受けるためのアプリケーション通信ソフト3を内蔵させたパソコン端末4があり、情報センター1には前記センターサーバ群2に加え、利用者側のアプリケーション通信ソフト3からのアクセスログ情報からアクセス状況を集計させるアクセス状況集計部5、CG成長度決定部6、アクセス状況分析資料部7とを有している。このアクセス状況分析資料部7からはCGリンク元8に対し分析資料の情報提供が行なわれるようにしてある。また、利用者の属性データは予め利用者側からの郵送等による申込書10の送付で行なわれ、情報センター1内の利用者属性部9にその情報が入力され記録される。

【0010】そして、上記システム構成に基づくシステムの動作フローは、図2に示すように、リンク元からCGの登録申し込みがあればセンター側でCGを登録させる。利用者側でのアプリケーション通信ソフト使用時において登録情報をクリックさせると、情報センター1にてクリックログ情報の記録がなされ、そこで特定CGと全体とのアクセス状況により対象CGの成長率を決定させた後、CGのサイズ変更を行なわせる。また、情報センター1でクリックログ情報の記録から1カ月分のアクセスデータを集計し、対象企業へデータ分析結果をフィードバックさせるのである。

【0011】上記した構成により、センターサーバ群2側へ各利用者のパソコン端末のアプリケーション通信ソフト3を介してのアクセス情報に応じた動的ログデータが予め記録管理され、利用者による動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて動的ニーズに対応した情報がセンターサーバ群2から各利用者側へ提供されるのである。具体的には、利用者はアイコンを起動すれば日々成長した風景がCG表示され、クリックして訪問すればするほどそのCGは大きく成長し、反対に訪問が減ってくると小さくなることで人気上昇中か下降中なのかがCGの大きさの変化で認識できる仕組みとなっている。すなわち、急に拡大されたCGには何か人気の秘密があるものと判断できるのである。

【0012】ネットビレッジは住民全員に対しての配信から、或る特定の要件を満たす少数住民にまで、あらゆる特性をクロスさせてターゲットを絞り込み、情報の配信を可能とさせている。例えばアプリケーション通信ソフト3にはネットビレッジに参加しているCGやその他の建造物を、ドラッグ&ドロップして簡単に自分だけのオリジナルビレッジを作る機能があり、URLを打ち込んでビレッジに参加していないWEBページを張り付ける所謂ビジュアル・ブックマーク機能（図示せず）を備えている。このように自分がいつも使うWEBページを自分専用の街にして、デフォルトで起動できるように設

定しておけば非常に便利である。この他ネットビレッジには田舎風のデザインとかハワイ風のデザインとか各種のオリジナルな建造物デザインパーツを企画することができる。また、パソコン通信を支えている会議室の仕組みを発展させて、画像、映像、音声等を表示させながら議論できる場を好きなテーマで自由にCGの形でオープンできるものとしている。また、住民同士のメッセージ交換も可能である。

【0013】次に、本発明の使用の一例を説明するに、仮想都市国家に参加する利用者のもとにはネットビレッジ国に入国するためのパスポートである仮想の新聞としてのCD-ROMが毎月送付され、利用者はこのCD-ROMをパソコンに入れてアクセスする。この時、モニターには新聞さながらの画面が再現表示され、利用者は各種方面での拾い読みによって、ネットビレッジに関する最新ニュースや新規情報を入手する。このとき、最新のブラウザやインターネット関連のソフトも紙面からインストールできる。また、途中で会員になった利用者はネットビレッジ新聞社のホームページへ過去のバックナンバーを読みに行くこともできる。そして、ネットビレッジは会員制であり、且つ動的ログデータがセンターサーバ群2側で把握されており、利用者の年齢、住所、職業等の属性はもとより、その利用者がどのようなサービスを利用し、あるいはどのホームページを頻繁に見ているか等の動向が把握できる。すなわち、特定の年齢、指定された地域への広告配信例えば20代の女性向けの化粧品の広告や、地域密着型企业や商店のエリアを限定した広告等、あるいは特定の嗜好を持つ利用者に対しての広告配信例えば車のホームページを多く見ている利用者に対しての自動車メーカーの広告等を行なうことができ、動的ニーズに対応した広告配信ができるのである。そして、リンク元から見ると住民がいつどのWEBページを訪問(クリック)したかは情報センター1であるネットビレッジは住民アクセスログデータとして全て捕捉されており、リンク元がネットビレッジ内にCG例えばビル等による形でオリジナルのホームページを開設(リンク)することでリンク元には受動的メリットを発生させている。

【0014】

【発明の効果】本発明は以上のように構成されており、特に、従来の回線接続サービスをするプロバイダや、回

線自体を所有するキャリアや、電話回線を大量保有してクローズドネットワークサービスを行なうパソコン通信や、情報センターサーバ側で利用者に対する指示を能動的に行なわせたりする必要性を皆無とし、利用者側での動的ログデータを情報センターサーバ側で把握させることができ、動的ニーズに対応した情報を随時利用者側に提供することができる。すなわち、動的ログデータのリアルタイムでのアクセス活用頻度に応じて動的ニーズに対応した情報がCGのCG建築形式で随時再生表示させることで、従来情報センターサーバ側で行なっていたサービス処理表示生成を利用者端末のインターフェースCD-ROMを介しての起動のみで行なえる。これにより利用者は面倒なURLをひとつひとつキーボードで打ち込む必要がないばかりか、画像としてどこにどのWEBページがあるかを覚えてしまう。また、ビジュアルに日々のアクセス数の変化を知ることができ高いCGには何かがあるということや人気WEBページやイベント情報の足掛かりとすることができる。加えて利用者の積極的なアクセスが期待でき、毎日視覚的に自分のホームページの様子を確認でき、競合相手との比較が行なえ、希望により競合相手の資料を得ることもできる。さらに、自分のホームページだけではそれをアクセスして見ない限り利用者はリンク元の発信する情報に触れることができないが、利用者がそのリンク元のホームページを見ていなくても、リンク元が発信する特別な情報を知ることができる。

【図面の簡単な説明】

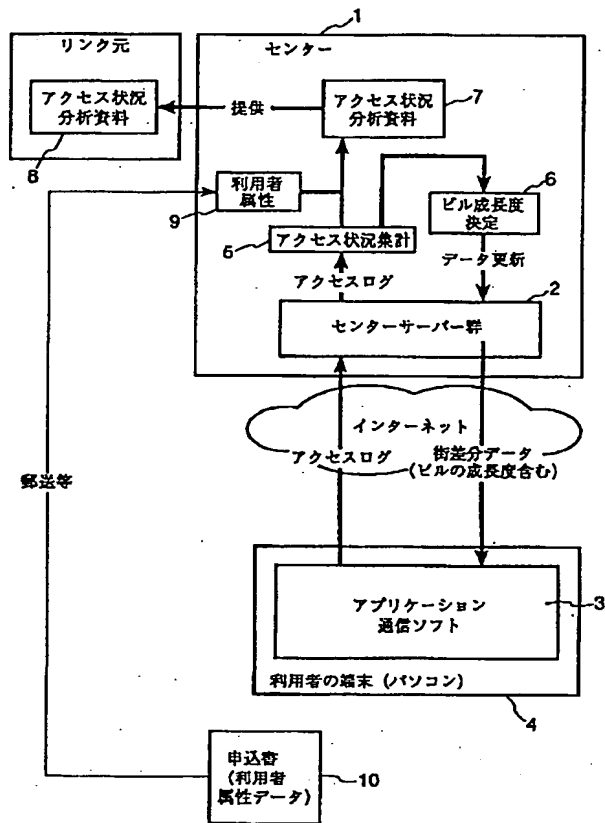
【図1】本発明の実施の形態を示したシステム構成図である。

【図2】同じく図1におけるシステムフローチャートである。

【符号の説明】

1…情報センター	2…センターサーバ群
3…アプリケーション通信ソフト	4…パソコン端末
5…アクセス状況集計部	6…CG成長度決定部
7…アクセス状況分析資料部	8…リンク元
9…利用者属性部	10…申込書

【図1】



【図2】

